



Grand再生可能エネルギー2014国際会議

(国際太陽エネルギー学会アジア太平洋地域2014国際会議
および第2回海洋エネルギー国際会議とジョイント)

2014年7月27日(日)－8月1日(金) 東京ビッグサイト

－ Advanced Technology Paths to Global Sustainability -

www.grand-re2014.org

1. 世界60カ国が参加、再生可能エネルギーの最新技術、先端技術、研究成果の論文発表が800件以上！！
()の数値は概略発表件数

	7/27(日)	7/28(月)	7/29(火)	7/30(水)	7/31(木)	8/1(金)
受 付			太陽光発電 (120)			
			風力発電 (160)			
			海洋エネルギー利用 (130)			
			太陽熱利用 (60)			
			バイオマス変換・利用 (60)			
			地熱・地中熱利用 (50)			
			革新的環境建築 (45)			
			省エネルギー・ヒートポンプ (40)			
			水素・燃料電池 (40)			
			中小水力・未利用エネルギー (30)			
			エネルギーグリッド・パワーエレクトロニクス (45)			
			政策・統合概念 (30)			

2. 招待講演者による講演

技術革新に影響をもつ専門家を世界的見地から18名招待する。
論文発表が行われる全分野を網羅しており、連日、講演が行われる。

3. 来賓講演および基調講演

7月30日10:30－12:30国際会議の開会式と基調講演が行われる。
主催者挨拶、18名の招待講演者紹介、経済産業省と東京都からの来賓ご挨拶に続き、
(株)日立製作所社長 東原敏昭様、ドイツ・フランホーファー研究所ヘニング博士、
国際太陽エネルギー学会レネ会長による基調講演3題が行われる。

4. ワークショップ

国際会議の枠内で、フクシマの再生可能エネルギーの取組み、国際チームによる
ゼロエネルギー建築のワークショップ(ZEMCH), などいくつかの企画が行われる。
詳細はホームページで紹介いたします。

5. 特別セッション

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、
並びに独立行政法人科学技術振興機構がそれぞれ特別セッションを開催します。
最新の世界情報から最先端技術まで幅広い発信を公開セッションとして行います。

- 上述した1. ～5. をすべて収録した検索付DVDを、国際会議の参加登録者全員に会議終了3カ月後に送付します。この製作費用を含め、1. ～4. に参加するための参加登録費は次のとおりです。

(1)通常料金 65,000円、(2)特別料金 55,000円、(3)学生 15,000円

注: 特別料金が適用されるのは、共催・協賛・後援団体、国際会議海外協力団体、駐日大使館などに所属する方々、並びに再生可能エネルギー世界フェア2014出展者です。詳細はホームページを参照ください。

＜国際太陽エネルギー学会アジア太平洋地域会議2014 並びに第2回アジア波力潮力エネルギー会議と共同開催＞

平成26年7月27日(日)～8月1日(金)、東京ビッグサイト 主催：グランド再生可能エネルギー2014国際会議 組織委員会

- 国際会議のスローガンと特徴：わが国唯一の再生可能エネルギー全分野を網羅した国際会議、60カ国以上が参加。2006年、2010年に続き今回が3回目。
 “Advanced Technology Paths to Global Sustainability”
 ー先端先進技術や研究を発表し、共有し、持続可能社会に貢献する国際会議ー
- 会議構成：① 800件を越す論文発表(下記一覧表)、② 世界から招く18名による招待講演、③ 開会式と基調講演：政府や自治体幹部の祝辞挨拶、著名な3名による基調講演、④ 独立行政法人による公開フォーラム、⑤ フクシマなどワークショップ、など多彩なプログラムが組まれます。
- 併設展示会：7月30日(水)～8月1日(金)、第9回再生可能エネルギー世界展示会を開催、PVJapanも同時開催されます。5万人以上の来場が期待されます。

分野	7. 27(日)			7. 28(月)							7. 29(火)							7. 30(水)							7. 31(木)							8. 1(金)															
	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16
0. 全体											<ul style="list-style-type: none"> ● 開会式：主催者挨拶、来賓挨拶(経済産業省、東京都)、招待講演者紹介 ● 基調講演： <ul style="list-style-type: none"> ★ 日立製作所社長、★ フランホーファー研究所代表 ★ 国際太陽エネルギー学会会長 ◆ ISESセッション ◆ W/S フクシマ 							● 表彰式および閉会式 優秀論文賞表彰 クロージングコミュニケーション発表																													
1. 政策・統合概念	● 再生可能エネルギーの展開(11)			● 各種エネルギーシステムの評価(5) ★ 招待講演(Dr. Alan Brown) ■ ポスターセッション(14)							● 再生可能エネルギーと経済性(6)																																				
2. 太陽光発電	● PVシステムと系統連系(13)			<ul style="list-style-type: none"> ◆ PRESTO セッション(先端的PV変換システム、さきがけ) ◆ RATOセッション“有機薄膜と色素増感セル”(7) ◆ ノーベル型PV技術(6) ● 最新型色素増感セル(5) ● 複合有機材を用いたハイブリッドセル(2) ● 薄膜化技術の最新線(5) ● 外部環境、損傷分析と対策(9) ● 結晶シリコンの最新技術(5) ■ ポスターセッション(18) ★ 招待講演(Prof. Michael Graetzel) ■ ポスターセッション(22) ★ 招待講演(小長井 誠教授) ■ ポスターセッション(24) 							● 太陽光発電モジュールの信頼性シンポジウム(12) <td colspan="7">● 企業からの発信セッション(4) </td>							● 企業からの発信セッション(4)																													
3. 太陽熱利用	● 家屋及びビルを対象の太陽光集熱システム(4) <td colspan="7">● 太陽光によるドライヤーシステム(3) ● 太陽光集熱と化学工程での熱分解システム(7) <td colspan="7">● 太陽エネルギーを用いた加熱・冷却システム(10) <td colspan="7"></td> </td></td>			● 太陽光によるドライヤーシステム(3) ● 太陽光集熱と化学工程での熱分解システム(7) <td colspan="7">● 太陽エネルギーを用いた加熱・冷却システム(10) <td colspan="7"></td> </td>							● 太陽エネルギーを用いた加熱・冷却システム(10) <td colspan="7"></td>																																				
4. 環境建築	● バナキュラー建築とパッシブ設計(9) <td colspan="7">● グリーンビルディング / ゼロエネルギービルディング(8) <td colspan="7">● W/Sゼロエネマスカスタムハウス-ZEMCH(10) <td colspan="7">● 建築素材の最新技術と快適室内設計(3) <td colspan="7"></td> </td></td></td>			● グリーンビルディング / ゼロエネルギービルディング(8) <td colspan="7">● W/Sゼロエネマスカスタムハウス-ZEMCH(10) <td colspan="7">● 建築素材の最新技術と快適室内設計(3) <td colspan="7"></td> </td></td>							● W/Sゼロエネマスカスタムハウス-ZEMCH(10) <td colspan="7">● 建築素材の最新技術と快適室内設計(3) <td colspan="7"></td> </td>							● 建築素材の最新技術と快適室内設計(3) <td colspan="7"></td>																													
5. 風力	● 最新風力発電技術(15) <td colspan="7">● サイト選定と風況予測(14) <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 招待講演(Dr. Peter Hauge Madsen) ● 最新風力発電技術(2) ● 系統連系と電力システム(9) ● 風況測定とモニタリング(5) ● 風力発電の社会受容性に対応(7) ● 風力発電所の設計とマネージメント(3) ■ ポスターセッション(40) </td> <td colspan="7">● 洋上風力発電(11) <td colspan="7">● 洋上風力発電(7) </td></td></td>			● サイト選定と風況予測(14) <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 招待講演(Dr. Peter Hauge Madsen) ● 最新風力発電技術(2) ● 系統連系と電力システム(9) ● 風況測定とモニタリング(5) ● 風力発電の社会受容性に対応(7) ● 風力発電所の設計とマネージメント(3) ■ ポスターセッション(40) </td> <td colspan="7">● 洋上風力発電(11) <td colspan="7">● 洋上風力発電(7) </td></td>							<ul style="list-style-type: none"> ★ 招待講演(Dr. Peter Hauge Madsen) ● 最新風力発電技術(2) ● 系統連系と電力システム(9) ● 風況測定とモニタリング(5) ● 風力発電の社会受容性に対応(7) ● 風力発電所の設計とマネージメント(3) ■ ポスターセッション(40) 							● 洋上風力発電(11) <td colspan="7">● 洋上風力発電(7) </td>							● 洋上風力発電(7)																						
6. バイオマス	● バイオ燃料(8) <td colspan="7">● バイオ燃料/BDF(5) <td colspan="7">● 海洋バイオマス(4) <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ● バイオエタノール(5) ● Biomaterials/Forestry(2) ● 嫌気性好気性発酵(2) ● ガス化技術(7) ● ガス化技術/熱分解(4) ● 持続性技術(3) ■ ポスターセッション(32) </td> <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) </td></td></td></td>			● バイオ燃料/BDF(5) <td colspan="7">● 海洋バイオマス(4) <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ● バイオエタノール(5) ● Biomaterials/Forestry(2) ● 嫌気性好気性発酵(2) ● ガス化技術(7) ● ガス化技術/熱分解(4) ● 持続性技術(3) ■ ポスターセッション(32) </td> <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) </td></td></td>							● 海洋バイオマス(4) <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ● バイオエタノール(5) ● Biomaterials/Forestry(2) ● 嫌気性好気性発酵(2) ● ガス化技術(7) ● ガス化技術/熱分解(4) ● 持続性技術(3) ■ ポスターセッション(32) </td> <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) </td></td>							<ul style="list-style-type: none"> ● バイオエタノール(5) ● Biomaterials/Forestry(2) ● 嫌気性好気性発酵(2) ● ガス化技術(7) ● ガス化技術/熱分解(4) ● 持続性技術(3) ■ ポスターセッション(32) 							● 海上風力発電機(6) <td colspan="7">● 海上風力発電機(6) </td>							● 海上風力発電機(6)															
7. 水素・燃料電池											<ul style="list-style-type: none"> ★ 招待講演(Prof. Etsuo Akiba) ● 水素エネルギー利用の全貌(3) ● 再生可能エネルギーと水素(3) ● 車両用燃料電池と製造(4) ● 水素製造と触媒(4) ■ ポスターセッション(16) 							● 水素貯蔵用金属材料(4) <td colspan="7">● 電気化学反応(3) </td>							● 電気化学反応(3)																						
8. 海洋エネルギー	● アジア波力潮力会議オープニング <td colspan="7">● 波力利用・発電技術1~4(21) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術1~4(21) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術5(5) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術7(5) </td></td></td></td>			● 波力利用・発電技術1~4(21) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術1~4(21) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術5(5) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術7(5) </td></td></td>							● 波力利用・発電技術1~4(21) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術5(5) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術7(5) </td></td>							● 波力利用・発電技術5(5) <td colspan="7">● 波力利用・発電技術7(5) </td>							● 波力利用・発電技術7(5)																						
9. 地熱・地中熱	● 輸送・交通手段への展開(2) <td colspan="7">● マイクログリッド/スマートグリッド(8) <td colspan="7">● 需要応答システム(2) <td colspan="7">● エネルギーネットワーク(4) <td colspan="7">● 分散型エネルギー資源(4) </td></td></td></td>			● マイクログリッド/スマートグリッド(8) <td colspan="7">● 需要応答システム(2) <td colspan="7">● エネルギーネットワーク(4) <td colspan="7">● 分散型エネルギー資源(4) </td></td></td>							● 需要応答システム(2) <td colspan="7">● エネルギーネットワーク(4) <td colspan="7">● 分散型エネルギー資源(4) </td></td>							● エネルギーネットワーク(4) <td colspan="7">● 分散型エネルギー資源(4) </td>							● 分散型エネルギー資源(4)																						
10. エネルギーグリッド・ パワーエレクトロニクス	● 熱エネルギー最新利用技術(6) <td colspan="7">● 空調技術の最新線(5) <td colspan="7">● 環境性能とヒートポンプ(6) <td colspan="7">● 最新省エネルギー技術(6) <td colspan="7">● 未利用エネルギー I(6) </td></td></td></td>			● 空調技術の最新線(5) <td colspan="7">● 環境性能とヒートポンプ(6) <td colspan="7">● 最新省エネルギー技術(6) <td colspan="7">● 未利用エネルギー I(6) </td></td></td>							● 環境性能とヒートポンプ(6) <td colspan="7">● 最新省エネルギー技術(6) <td colspan="7">● 未利用エネルギー I(6) </td></td>							● 最新省エネルギー技術(6) <td colspan="7">● 未利用エネルギー I(6) </td>							● 未利用エネルギー I(6)																						
11. 省エネルギー・ ヒートポンプ	● 地熱埋蔵フィールド(5) <td colspan="7">● 地熱エネルギーと環境受容性(3) <td colspan="7">● 地熱資源の探索(6) <td colspan="7">● 掘削技術とマッピング化(4) <td colspan="7">● 地中熱ヒートポンプ II(7) </td></td></td></td>			● 地熱エネルギーと環境受容性(3) <td colspan="7">● 地熱資源の探索(6) <td colspan="7">● 掘削技術とマッピング化(4) <td colspan="7">● 地中熱ヒートポンプ II(7) </td></td></td>							● 地熱資源の探索(6) <td colspan="7">● 掘削技術とマッピング化(4) <td colspan="7">● 地中熱ヒートポンプ II(7) </td></td>							● 掘削技術とマッピング化(4) <td colspan="7">● 地中熱ヒートポンプ II(7) </td>							● 地中熱ヒートポンプ II(7)																						
12. 中小水力・ 未利用エネルギー	● 未利用エネルギー II(5) <td colspan="7">● 水力発電開発と利用(6) <td colspan="7">● 水力発電開発と利用(6) <td colspan="7">● 水力発電の実証例(6) </td></td></td>			● 水力発電開発と利用(6) <td colspan="7">● 水力発電開発と利用(6) <td colspan="7">● 水力発電の実証例(6) </td></td>							● 水力発電開発と利用(6) <td colspan="7">● 水力発電の実証例(6) </td>							● 水力発電の実証例(6)																													
特別セッション (公開セッション)	● 特別講演者(Prof. Roland N Horne) <td colspan="7">● 工学的地熱システムEGS(4) <td colspan="7">● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td></td></td>			● 工学的地熱システムEGS(4) <td colspan="7">● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td></td>							● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td>							● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak)																													
	● 特別講演者(Prof. Roland N Horne) <td colspan="7">● 工学的地熱システムEGS(4) <td colspan="7">● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td></td></td>			● 工学的地熱システムEGS(4) <td colspan="7">● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td></td>							● 貯留層工学(3) <td colspan="7">● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak) </td>							● 特別講演者(Prof. Eduard Doujak)																													

★ 基調講演、招待講演 ● 論文口頭発表 ■ 論文ポスター発表 ()内の数値は発表予定件数 ◆ ワークショップ(W/ ◎特別セッション(公開セッション) 使用言語：英語(特別セッションを除く)

- 参加登録方法および登録費：ホームページからのオンライン登録。開催当日の混雑防止のため事前登録をお願いします。
 参加費：一般 65,000円、特別 55,000円、学生 15,000円。特別料金は共催、協賛団体並びに展示会出展者に適用されます。
 会議終了後3か月以内に、国際会議で発表された全論文、招待講演、基調講演などをすべてを収録した検索付論文集(DVD)が参加登録者全員に配布されます。
 参加登録費の多くはこの成果物作製のために使われます。DVDは著作権の関係から非売品です。
- 問合せ・連絡先：グランド再生可能エネルギー2014国際会議事務局：日本コンベンションサービス株式会社(内)
 運営関係 TEL: 03-3502-6871 FAX: 03-3508-1710、e-mail: grand-re2014.sec@grand-re2014.org
 登録関係 TEL: 03-3508-1250 FAX: 03-5283-5952、e-mail: gre2014-reg@grand-re2014.org

